

キンダーブック じゅにあ 1月号



表紙の
絵から

お正月の晴れ着を着て、こままわしをしているちゅうくん。笑顔で新しい年の始まりです。門松や、裏表紙のおせち料理など、お正月ならではのものにふれながら、お正月に何をしたいかなどと話題をふくらませてください。

じゅんばんに つかおう



ねらい 順番を守って、気持ちよく物の貸し借りをしましょう。



「ぶうたくん、楽しそうに三輪車に乗っているね」「ちゅうくんも乗りたいんだね」と、注目してみましょう。「お友だちがつかっている物をつかいたいときは、なんといいかな?」と尋ね、子どもたちが自分で考えるきっかけにしてみてください。

「ちゅうくん、『かして』と言えたね」「みんなは言えるかな?」などと話しましょう。ぶうたくんがすぐに『いいよ』と言えたことにも着目してみてください。



ちゅうくんが『ありがとう』と伝え、ふたりとも笑顔になっていることに気づけるようにしましょう。なかよくゆすり合うことの心地よさを感じられるとよいですね。

くるくる こままわし



ねらい こまに興味をもち、お正月遊びについて知りましょう。

つかい方のポイント
さまざまな色や形のこまがあることに注目しましょう。「どうやって遊ぶのかな?」と尋ね、手やひもをつかってまわすことなども伝えられるとよいですね。こまがくるくるまわる動きをまねして、楽しみましょう。



だるまん



ねらい 歌のリズムに合わせて、にらめっこを楽しみましょう。

つかい方のポイント
「あっぷっぷ」でおもしろい顔をしてみましょう。目や口を思いきり動かして、いろいろな顔をつくってみると楽しいですね。「笑うのをがまんできるかな?」と挑戦してみると、より盛り上がりそうです。

「キンダーブックじゅにあ」を 保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域
<p>「じゅんばんに つかおう」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いをことばで伝える。 順番を守り、友だちと気持ちよく遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ことばが足りないところは、保育者がさりげなくことばを添え、相手に伝わるように仲介する。 物の貸し借りの際は、保育者が見守り、つかっている子ども自身が満足してから相手にゆずれるようにする。 ゆずってもらった子も、感謝の気持ちを伝え、和やかなやりとりができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉 人間関係
<p>「くるくる こままわし」</p>	<ul style="list-style-type: none"> こまはお正月によく遊ぶものだを知る。 こまをつかって遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 実際にこまを用意し、こまにふれて遊べるようにする。 こまが園にない場合は、保育者が簡単なこまを作る。または、子どもたち自身で作って遊べるように準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> 環境 健康